

# Monthly Report

2018年 / 4 月号



## 目次

- 1 面：旅行社の声（現地旅行社キーマンインタビュー）
- 2-3面：一般情報/トレンド情報
- 4 面：壹友からの声/マーケット情報



Wechat(微信)

## ▶▶▶ 現地旅行社からの声

### → FIT引き続き増長、リピーターが常態化、週末旅行で日本へ

2018年訪日旅行の熱は下がらず、今後はますます増える一方です。

FITは、引き続き増加しており、2017年の訪日中国人は約740万人でしたが、今年はそのを超える勢いです。（1～2月の訪日数は18%増）上海エリアでは、全体の80%はFITと、人数は増えている中で、ますます個人化進んでいます。しかし一方で、訪問エリア、訪問観光地は、まだまだ定番のところが多いといえます。東京、大阪を中心に、北海道、福岡など都市を中心に集めています。

今後は定番地域を中心に、周辺観光地への拡散を旅行会社は考えています。

日本旅行の最大の特徴は、帰国した後に“また行きたい”と思うことだと、訪日担当者は言います。

飛行時間 3時間程度の他の近隣国に比べると、お客さんの満足度が非常に高く、リピーターが非常に多いのです。2回以上、日本へ行っている旅行者も少なくないといえます。旅行回数の増加により、日本への理解が深まり、位置的に近いこともあり、週末を利用し、日本への温泉旅行、グルメ旅行、ショッピング旅行などが定着するであろうとみえています。

## 好評連載 【今を知る! 現地旅行社 キーマンに聞く】第37弾

**浙江胜景国际旅行社有限公司副总经理 精彩日本总经理 诸葛标 (ZhuGe Biao)**

**Q** 今の訪日旅行状況を教えてください。

**A** 東京、大阪、北海道、昇龍道など好調です。  
今年には飛行機+クルーズで展開し、非常に人気ですね。

**Q** 団体客が多いですか。それともFITが多いですか？

**A** 直接の販売は団体とFIT半々です、BtoBの販売は団体がメインです。

**Q** 弊社発刊の冊子「壹遊日本」について感想やご意見をお願いします。

**A** 商業施設だけでなく、お土産屋さんも紹介しているので非常に面白い。今後も情報源として、参考にしていきたいです。



## 桜の季節、中国人は花見で忙しい？

東京では季節がよく、上野公園の桜が咲き、多くの人々が来て花見をする。日本人以外に、世界各地の観光客も来ている。その中には、中国人の姿も少なくない。彼らの一部の人は、花見のために日本を訪れる。

現在、花見は日本人独特な習慣ではなく、上野公園の中は様々な肌の人、様々な言語が飛び交っている。花見という日本発の文化習慣は世界各地に広がり、国際化されている。人民網の記者が上野公園のいた何名かの中国人観光客をインタビューした。彼らは「上野公園の桜が非常に綺麗、今後チャンスがあればまた来る」と言う。

報道により、Ctripが最近公表した「2018年世界花見の傾向レポート」により、日本で花見をすることは3-4月のセールスポイントになっている。Ctripのマーケット分析専門家は、この桜の季節に、60万人以上の中国人観光客が日本を訪れると予測しているという。知名度が高い花見スポットの3割以上は、中国人観光客に占められるという。

一方で、上海も花見の繁忙期であり。今年は顾村公園(上海有名なお花見観光スポット)で、桜まつりが開催されている。3月16日から4月15日まで、新に栽培された40株の八重桜は咲き、目を楽しませている。桜ロードの両側にも、新たに花見スポットが設けられ、観客に更に桜のロマンティックさを感じさせた。それに伴う公園近辺の各種の交通制限、ヒトゴミなどに疲れも感じさせる。

出典元: 人民網&百度

## 樱花盛开，中国人赏樱忙？

日本东京风和日丽，上野公园樱花绽放，大批游人前来赏樱，除了日本人之外，还有来自世界各地的游客，其中也有不少中国人的身影，他们当中有些人甚至是专门为了赏樱才来的日本。

目前，赏樱已经不再是日本人独有的习惯，上野公园里到处可以见到各种肤色，讲各种语言的外国人，赏樱这一日本发祥的文化习俗正在传播到世界各地，不断走向国际化。

人民网记者在上野公园采访了几名来自中国的游客，他们一致表示，上野公园的樱花很美，令人感动，今后有机会还要再来。

据报道，携程旅游近日发布的《2018全球赏花旅游趋势报告》显示，赴日赏樱成为3-4月份吸引游客去日本旅游的主要因素。携程旅游专家预计，樱花季或有60万中国游客赴日赏樱旅游。在一些热门景点，预计三成国际游客来自中国。

另一方面，上海也迎来了赏樱高峰。2018顾村公园樱花节时间 开幕时间：3月16日至4月15日 新引进的40株八重红枝垂樱，将带来别样的视觉盛宴，未来这片樱花林将带来像‘瀑布’般满树烂漫的视觉效果，樱花大道两侧的赏樱新景致和青蛙码头临水赏樱的新景观，让游客身临其境地感受樱花的浪漫。各种限行，人流，让人感到疲劳。

出典元: 人民網/百度



 **中国国民の海外旅行は延べ1.3億人を超え、韓国旅行持続不振**

新華社北京2018年2月6日発表した2017年、中国国内旅行マーケットは急速に発展し、インバウンドとアウトバンド両方が平穩に発展している。2017年で、中国国民の出国人数は延べ13,051万人、2016年同期より7.0%伸びた。

中国旅遊研究院2018年3月6日発表した「2017中国旅游經濟運營と2018年旅行發展傾向」により、国内旅行人数は延べ50.01億人、2016年同期と比べ、12.8%伸びた。インバウンドとアウトバンド総人数は延べ2.7億人。2016年同期より3.7%を伸びた。通年旅行總收入5.4万億元を実現、15.1%伸びた。

通年全国旅行業はGDPに対して、綜合貢獻9.13万億元、GDP總量の11.04%を占めている。旅行業就業人数は2,825万人、旅行業關係の就業者人数は7,990万人、全国就業總人口の10.28%を占めている。2017年通年で、入国旅行者数は延べ13,948万人、2016年同期より0.8%を増えた。入国外国人観光客はアジアが74.6%を占め、観光レジャーを目的とする旅行者は37.1%を占めている。

2017年10月31日、中韓兩國の外交部が同時に、双方で關係改善に協力し、各領域において發展化に向け、一致を合意した。關係改善を正式に行った形だが、韓国への観光客、特に団体はまだ見られない状態だ。分析によると、2017年の一年で、中国人の旅行傾向が單純にショッピングだけから多元化轉換していることが不振の原因の一つであるという。韓国の「アジア經濟」の3月29日の報道により、韓国旅游局3月27日発表したデータで、2018年の2月まで、韓国に訪問した中国人の数は2017年同期と比べ、43.7%減少した。平昌オリンピック期間であっても、韓国に来た中国人観光客は目立つ増長が見られなかったという。

出典元：人民網&新華社

 **去年中国公民出境游超1.3亿人次，赴韩游持续低靡**

新华社北京2月6日电,2017年我国国内旅游市场高速增长,入出境市场平稳发展,供给侧结构性改革成效明显。2017年全年,中国公民出境旅游人数13051万人次,比上年同期增长7.0%。

中国旅游研究院6日发布的《2017中国旅游经济运行分析与2018年旅游发展趋势》显示,国内旅游人数50.01亿人次,比上年同期增长12.8%;入出境旅游总人数2.7亿人次,同比增长3.7%;全年实现旅游总收入5.4万亿元,增长15.1%。

初步测算,全年全国旅游业对GDP的综合贡献为9.13万亿元,占GDP总量的11.04%。旅游直接就业2825万人,旅游直接和间接就业7990万人,占全国就业总人口的10.28%。

2017年全年,入境旅游人数13948万人次,比上年同期增长0.8%。入境外国游客亚洲占比74.6%,以观光休闲为目的游客占37.1%。

2017年10月31日,中国与韩国外交部同时宣布,双方就改善关系并推动各领域正常化发展达成一致。中韩关系回暖后,来韩中国团体游客仍寥寥无几。分析认为,2017年一年中国人的旅游趋势由单纯购物向养生转变,若来韩中国游客持续不振,很可能对韩国国内需带来负面影响。

据韩国《亚洲经济》3月29日报道,韩国旅游发展局3月27日发布的数据,截至今年2月,来韩中国人数较去年同期减少了43.7%。即使在平昌冬奥会期间,来韩中国游客并未出现明显增长,规模同比减少了41.5%

出典元：人民網&新华社

## → 日中間旅行マーケットのアンバランスに注目したい

2回目の日中旅行交流と研究会が北京で行われ、両国の関係者が会議に参加した。主な内容は、下記の通りだ。

国と国の文化交流は、人と人の文化交流であり、両者の間で相互理解は、コミュニケーションを深くする。対面交流は方法の一つで、一番効果的かもしれない。

近年、訪日中国人観光客は大幅に増え、日本マーケットの発展に貢献している。「爆買い」という新しい言葉も生まれてきた。ただ、最近日本国内では、中国人観光客の消費が少なくなったと心配な声も出ているようだ。しかし、このような見方はあまり好ましくない。ここ数年、訪日観光客が増え、2017年は約740万人が日本を訪れている。一人当たりのショッピングの消費額は、確かに昨年より少なくなっているが、逆に、この740万人は、ショッピング以外でも、日本への理解や、交流活動を行っており、消費もしている。単純なショッピングよりずっと意味があり、非常に良い現象である。同時に、中国人の日本に行く目的が多様化することにより、様々な角度から日本を見つめることが出来る。メディアも、単純に経済目的だけで日中両国間の交流を評価すべきでない。

また、日本から中国への観光客は近年ずっと増えが見られず、減少傾向である。非常に少ないのである。いろいろな原因があるが、このようなアンバランス状態は両国の関係部署は重視されなければいけない現状であり、改善に向け努力していく必要がある。

近年、中国からの海外旅行の人数は大幅に増え、2017年は延べ1億3千万人を超えた。そのような中、2000年以来、訪日数は17年間で20倍に増えた。日中間の航空便は、2015年の冬から増え続け、今年の夏まで合わせて1047便に到達する予想だ。その他、2017年、中国の訪日観光客はFITの数も団体の数を超え、61.8%に到達。その中で、女性の人数は男性を超え、全体の約6割を占めている。観光客の比率も変わってきている。2回以上の訪日経験者は40%に達したという。一方、中国人訪日観光客は観光スタイルも変わってきている。単純に観光スポットやショッピングだけでなく、自然、日本料理、温泉、繁華街などに注目している。

2014年から続けて、中国人訪日観光客は、日本の訪中観光客の数を超えた。中国の訪日観光客の半分は観光レジャーを目的とし、多くの観光客は4日間から2週間程度の滞在期間を過ごす。一方、日本国民の7割を超えた人が中国に来たことがない、その内、2割が“今後中国に来たい”、5割が“今後中国に来ることがない”という回答だ。中国に旅行に行きたくない主な原因は、「空気の質があまりよくない(65.5%)」、「食品の安全に心配(56.0%)」、「旅行の安全が心配(28.2%)」である。その他、「興味がない」「中国があまりわからない」が、旅行行きたくない主な原因である。解決方法として、近年来、両国政治間の関係が緩和しており、これをきっかけに、旅行産業で協力しあい、人員や資本の流通には利便性を最大に図り、観光客の満足度を高めるよう、障害を取り除き、旅行の品質レベルを向上させることが重要である。メディアの応用も、若年層をターゲットとし、今後将来に向け、お互い理解を促進すべきである。

各種データ元 : 人民網/新浪NEWS



### 株式会社フレンドリージャパン 上海事務所

発行責任者：株式会社フレンドリージャパン 周程

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂1-15-3 プリメーラ道玄坂 805

TEL : 03-6416-5505 FAX 03-6416-5515

E-mail : madoguchi@friendlyjp.com HP <http://www.friendlyjp.com/>